

三重県史

資料編  
近世4  
(上)

目次

凡 序 口  
例 繪

第一部 商業

総合解説・史料所蔵者等一覧……………2

第一章 伊勢商人の成立

第一節 伊勢商人の江戸進出……………56

第二節 初期の経営……………84

第三節 大伝馬町組の成立……………100

第二章 本家と江戸

第一節 店 掟……………118

第二節 奉公人の雇用と昇進	165
第三節 経営報告と本家の指示	206
第四節 伊勢商人の結びつきと教養	344

### 第三章 伊勢商人の商業経営

第一節 算用目録と店制	370
第二節 買次と廻船	507
第三節 経営の悪化とその対応	554

### 第四章 伊勢商人と領主

第一節 為替方と銀札方	570
第二節 御用金と専売制	615

### 第五章 幕末維新期の伊勢商人

第一節 幕末維新期の営業	656
第二節 維新政権と伊勢商人	703

## 第二部 交通

総合解説・史料所蔵者等一覧	724
---------------	-----

### 第一章 陸上交通

第一節 街道と宿駅	770
第二節 助郷	872
第三節 渡し	926
第四節 飛脚	938
第五節 維新期の陸上交通	962

### 第二章 水上交通

第一節 廻船と湊	972
第二節 難船処理	1001
第三節 河川交通	1013

第三章 近世の旅	1025
----------	------

資料提供者および協力者……………1091

あとがき……………1093

付録

勢州松阪持丸長者鏡

新板伊勢参宮道中記図

口絵目次

1	江戸名所百景大てんま町木綿店(安藤広重画)	9	旧小津家の千両箱・万両箱
2	旧小津家(現松阪商人の館)	10	宝暦十一年小津家店掟
3	長谷川家土蔵	11	長谷川家書状留
4	商家の道具類	12	長井家算用帳
5	川喜田家縞帳	13	文政十三年御蔭群参之図(田中易慎写)
6	文政十三年伊勢参宮宮川の渡し(安藤広重画)	14	おかげ幟・お祓・柄杓
7	文化八年伊州上野長田川筋城州笠置迄川絵図	15	おかげ神異記(宝永・明和・文政)
8	東海道五十三次庄野宿(安藤広重画)	16	道中記

細目次

第一部 商業

第一章 伊勢商人の成立

第一節 伊勢商人の江戸進出

1	角屋朱印船頭請状……………	万治元年十一月……………	57
2	角屋朱印船浦賀石銭断状……………	(享保七年)六月……………	57
3	村田孫兵衛遺言状……………	延宝五年十月……………	58
4	川喜田家津分部町店売券……………	延宝七年二月……………	61
5	川喜田浄誓遺言状……………	正徳三年六月……………	63
6	川喜田家大伝馬町店売券……………	宝永五年・延宝五年……………	66
7	芝原浄休遺状金覚……………	正徳三年十月……………	67
8	小津家家記……………	……………	70
9	小津家大伝馬町店売券……………	元禄十七年三月……………	76
10	小津家大伝馬町店売券……………	宝永三年九月……………	80

11	渡辺家江戸出店経緯書	天保十四年四月	81
第二節 初期の経営			
12	富山家足利帳	元和元年(寛永十七年)	85
13	富山家算用帳	(寛永十五年)八月	88
14	長谷川家店卸帳	寛文十二年正月	92
15	長谷川家店目録	元禄四年正月	94
16	長井家算用帳	(延宝三年)正月	96
17	川喜田家目録帳	(寛文九年)	98
第三節 大伝馬町組の成立			
18	大伝馬町長谷川木綿店古帳	(貞享三年)	101
19	大伝馬町組来由書	文化十一年九月	107
20	大伝馬町組来由書	文化十一年九月	113
第二章 本家と江戸			
第一節 店 掟			
21	富山家家内法度	元禄六年	119
22	小津家定	(元禄七年)六月	120
23	小津家定	宝曆十一年九月	120
24	田中家定式	(享保十七年九)	123
25	田中家覚	(享保十九年六月九)	124
26	長谷川家掟	天明三年三月	125
27	長谷川家掟	安政四年十一月	133
28	長井家覚	享保八年九月	138
29	長井家心得	天明七年九月	138
30	長井家定目	文政十年閏六月	140
31	川喜田家店定目	文化十三年二月	142
32	川喜田家定目		146
33	竹口家家訓準繩録		152
34	渡辺家店式目	天保七年三月	160
35	渡辺家式目	文久二年二月	162
第二節 奉公人の雇用と昇進			
36	長谷川家江戸店々人別控	天保十三年五月	166
37	長谷川家江戸若者往来控	嘉永二(七年)	176
38	長谷川家江戸店若者仕分金之覚	天保四年(安政三年)	185

39 富山家諸店支配退役覚 ..... 元文六年正月 ..... 199

第三節 経営報告と本家の指示

40 長谷川家江戸店宛書状留 ..... 天明二年七月〜三年正月 ..... 207

41 田中本家江戸店宛指示書留 ..... 文政十〜十二年 ..... 304

42 田中家江戸店報告書 ..... 文政十二年五月 ..... 328

43 田中家江戸店監査記録 ..... 文政十一年三月 ..... 335

第四節 伊勢商人の結びつきと教養

44 川喜田家親類等懇意附合控 ..... (享和元〜三年) ..... 345

45 竹口家首信贈答帳 ..... (享和元〜三年) ..... 349

46 長谷川家諸雜誌 ..... 文化八年正〜三月 ..... 356

第三章 伊勢商人の商業経営

第一節 算用目録と店制

一 算用目録

47 川喜田家江戸本店の算用目録 ..... 安永六年二月 ..... 371

48 長井家大和屋店の算用目録 ..... 享和二年八月 ..... 392

49 竹口家伊勢喜店の算用目録 ..... 天保十年七月 ..... 412

50 田中家江戸本店の算用目録 ..... 享保十一年 ..... 421

51 竹川家惣目録の控 ..... 文化十四年〜文政元年 ..... 426

52 川喜田家東西店々勘定期目 ..... 安政元年 ..... 436

53 小津家勢要財宝帳 ..... 明治三十二年 ..... 440

二 店制

54 長谷川家諸用書留帳 ..... 文化十三年六月 ..... 451

55 田中家店制記録 ..... 天保四年四月 ..... 458

56 竹口家適致富久路 ..... 天保十年 ..... 463

57 川喜田家永代記録 ..... (明治六年) ..... 474

58 川喜田家大坂店出入人書上 ..... 安政五年二月 ..... 505

59 川喜田家の買次商人書上 ..... 安政四年 ..... 508

60 勢州南組の買次商人書上 ..... 二月 ..... 516

61 野崎家の木綿売買値段書上 ..... 寛政二年七月 ..... 524

62 勢州北組の買次商人書上 ..... 寛政元年〜文政十年 ..... 535

第二節 買次と廻船

一 買次

60 勢州南組の買次商人書上 ..... 二月 ..... 516

61 野崎家の木綿売買値段書上 ..... 寛政二年七月 ..... 524

62 勢州北組の買次商人書上 ..... 寛政元年〜文政十年 ..... 535

二 廻船

63	白子船々振先仕方帳	寛政六年十月	543
64	江戸白子組木綿問屋よりの難船処理役職の依頼状	文政十三年八月	550
65	白子廻船定規雛形	寛政十二年二月	551
66	寛政期の白子廻船の掟書	寛政十二年二月	551

### 第三節 経営の悪化とその対応

67	角屋朱印船差支一件覚	延享四年五月	555
68	角屋朱印船破船口上書	宝暦五年	556
69	川喜田四郎兵衛店閉店覚	安永五年八月	557
70	竹川家経営悪化につき書状	(安永六年)正月	558
71	竹口家援助につき書状		559
72	富山家救済一件覚	寛政十年七月	560
73	長井家経営引き締め願	文化十年五月	560
74	田中家両国店休店覚	天保八年十月	567

## 第四章 伊勢商人と領主

### 第一節 為替方と銀札方

#### 一 為替

75	富山家幕府御為替御用開始の家質	(享保九年)七月	571
76	三井家紀州様御用筋覚書	享保三年二月	572
77	松坂御為替組御用向日記	宝暦五年三月	573
78	三井家紀州方勘定帳	安永八年(天明五年)	577
79	田中家久居藩為替方仕形書付	享保十四年十月	587
80	川喜田家御為替手形	嘉永七年(万延元年)	589
81	松坂御為替役所定	(安政五年六月)	600
二 銀札			
82	三井家覚	(文政七年)四月	603
83	御仕入方出入町人銀札請求一件書類	(文政八年)六月	605
84	松坂銀札方御断につき御役方仰付書	天保五年二月	608
85	紀州藩銀札願書	天保五年十二月	611
86	津藩銀札会所掟	西 四月	612
第二節 御用金と専売制			
87	南紀綿弁	寛政十二年十二月	616
88	川喜田家永上納金一件書	安永八年十二月	622
89	鳥羽藩御用金につき方覚日記	享保十二年三月	630

90 永井大学御貸上金催促掛合振筆記…………… 明和七年五〇七月…………… 634

91 永井様一件控…………… 文化十四年八月…………… 639

92 紀州御用留一件…………… (天明四年)三〇十月…………… 644

第五章 幕末維新期の伊勢商人

第一節 幕末維新期の営業

93 株仲間解散についての長谷川家書状留…………… 天保十三年三〇十一月…………… 657

94 大伝馬町木綿問屋仲間の定法帳…………… 嘉永六年十一月…………… 663

95 仮組木綿問屋の仲間入願…………… 安政三年十一月…………… 665

96 川喜田家の要用書翰控…………… 文久三年(明治四年)…………… 667

97 川喜田家より津藩奉行所への返答書…………… 明治元・三年…………… 692

98 小津家の横浜出店一条書類…………… 明治六〇十年…………… 694

第二節 維新政権と伊勢商人

99 川喜田家の基立金引受記録…………… 慶応四年閏四月…………… 704

100 長谷川家の会計官御用筋要用之諸記…………… 慶応四年八月…………… 711

101 田中家日記と商法司勤役…………… 明治元・二年…………… 714

102 明治三年松坂店商売向につき願書…………… 明治三年二月…………… 718

103 三井御用所の設置…………… 明治六年五月…………… 719

第二部 交通

第一章 陸上交通

第一節 街道と宿駅

一 近世宿駅の設置

1 桑名宿伝馬朱印状…………… 慶長六年正月…………… 771

2 桑名宿伝馬定書…………… 慶長六年正月…………… 771

3 桑名宿御朱印替えにつき申渡状…………… (慶長十二年)三月…………… 772

4 四日市宿伝馬朱印状写…………… 慶長六年正月…………… 772

5 四日市宿伝馬定書写…………… 慶長六年正月…………… 772

6 四日市宿伝馬駄賃馬荷物定書写…………… 慶長七年六月…………… 773

7 四日市宿御朱印替えにつき申渡状写…………… (慶長十二年)三月…………… 774

8 関地藏宿伝馬朱印状…………… 慶長六年正月…………… 774

9 関地藏宿伝馬定書…………… 慶長六年正月…………… 775

10 関地藏宿伝馬駄賃馬荷物定書…………… 慶長七年六月…………… 775

11	関地蔵宿伝馬駄賃馬荷物定書	元和二年十一月	776
12	駒曳朱印による伝馬手形	慶長六年三月	776
	一 宿駅と街道		
13	東海道桑名宿大概帳(抄)		777
14	東海道四日市宿大概帳(抄)		781
15	東海道石薬師宿差出明細帳(抄)	天保九年閏四月	785
16	東海道庄野宿差出明細帳(抄)	天保九年閏四月	787
17	東海道亀山宿大概帳(抄)		790
18	東海道関宿方明細書上帳(抄)	享和三年	793
19	東海道坂下宿大概帳(抄)		799
20	四日市宿内商売向等書上帳	文化八年正月	802
21	庄野宿内商売向取調書上帳	明治元年十一月	803
22	伊賀街道平松宿の設置	元禄八十年	804
23	問屋前御高札之所々		805
24	東海道の宿駅と駄賃	宝暦五年	806
25	参宮街道の行程	明和三年	811
26	京参宮街道の宿駅	明和三年	813
27	初瀬本街道の宿駅	明和三年	815

28	初瀬表街道の宿駅	明和三年	817
29	熊野街道の宿駅	嘉永六年	818
30	川俣街道等村々調書	享和四年正月	820
31	桑名宿より熱田・四日市への船賃・駄賃定書	寛永二十年二月	825
32	関地蔵宿駄賃馬之定書	亥 十月	826
33	往還筋相守るべき条々	万治三年十月	827
34	伊賀加判奉行道中定	寛永十四年二・三月	827
35	大道筋修理につき伊賀加判奉行申渡状	慶安元年十二月	828
36	人馬脇道禁止につき伊賀加判奉行申触書	慶安三年七月	829
37	伊勢地越・長谷越参宮人につき覚書	宝永二年八月	829
38	津藩道中法度書		830
39	忍藩家臣関所手形	慶応三年三月	833
40	寺請往来手形	安政五年九月	833
	二 宿駅の機能		
41	亀山・関地蔵両宿掟書	慶安五年四月	834
42	亀山・関両宿覚書	貞享二年十一月/正月	835
43	四日市宿問屋休役につき差上状	文化七年三・四月	837
44	四日市宿納屋町組歩役定之事	文政六年正月	840

45 四日市駅御伝馬有馬無馬書訳帳 ..... 文政九年正月 ..... 842

46 石薬師・庄野両宿困窮救助につき請書 ..... 文政十二年二月 ..... 847

47 関宿地下問屋出入簡条書 ..... 元禄三年十一月 ..... 849

48 問屋設置につき伊賀加判奉行申渡状 ..... 寛永二年四月 ..... 852

49 諸大名衆通行につき伝馬申付状 ..... 寛永十七年六月 ..... 853

50 伊賀宿々馬数等言上 ..... 寛永二十年五月 ..... 853

51 口取り無き乗馬禁止につき伊勢加判奉行申付状 ..... 天和三年六月 ..... 854

52 本陣等困窮につき土山宿外四宿助成願書 ..... 文政五年三月 ..... 855

53 四日市宿本陣旅籠屋申合状 ..... 寛政八年 ..... 857

54 関宿川北本陣・伊藤本陣和談覚書 ..... 天保十一年三月 ..... 859

55 明石藩主松平日向守信之宿泊につき坂下宿割帳 ..... 万治二年十一月 ..... 860

56 元禄十年吉広公御参勤記録 ..... 元禄十年 ..... 862

57 鳥羽藩主稲垣長統参府につき四日市宿本陣覚書 ..... 文化七年 ..... 867

58 大和五条御代官辻甚太郎様御通行届 ..... 文政元年二月 ..... 868

59 遊女・勸進比丘尼・女一人旅など禁止につき申付状 ..... 明暦三年正月 ..... 869

60 旅籠屋渡世許可につき旅籠屋月番願書 ..... 安政七年五月 ..... 869

61 松坂宿本陣旅籠屋株仲間定書 ..... 天保八年十二月 ..... 870

第二節 助郷

62 桑名宿助郷帳 ..... 享保十年(天保四年) ..... 873

63 坂下宿助郷役免除願 ..... 天保十五年八月 ..... 880

64 四日市宿代助郷差村につき諸事控帳 ..... 文化六年六月 ..... 887

65 四日市宿代助郷差村一件につき拝借金願写 ..... (文化七年)十一月 ..... 897

66 庄野石薬師宿助郷人馬請負願 ..... (嘉永五年)十月 ..... 898

67 庄野石薬師宿助郷人馬請負金高目録帳 ..... 嘉永六年六月 ..... 899

68 近江国石原宿代助郷差村につき免除願 ..... 天保十五年十二月 ..... 901

69 亀山宿代助郷差村につき出府一件帳 ..... 天保九年三月 ..... 902

70 亀山宿増助郷役につき信楽役所へ出頭日記 ..... 弘化三年六月 ..... 913

71 助郷役助成金につき志摩国大庄屋廻達 ..... 弘化五年四月 ..... 920

72 伊勢国六か宿当分助郷役につき信楽代官手代請書 ..... 慶応元年十月 ..... 921

73 河内国村々へ庄野石薬師宿当分助郷役賦課一件記録 ..... 慶応二年九月 ..... 923

第三節 渡

74 石川主殿頭一行の桑名の渡し船割 ..... 貞享三年十月 ..... 927

75 雲出川渡し場之定 ..... 享保二十年十一月 ..... 928

76 榎田川波多瀬渡船締方定 ..... 天保十一年十一月 ..... 930

77 宮川両舟渡しの定 ..... 慶長十三年、延宝四年 ..... 931

78 宮川両渡しにつき定 ..... 延宝四年五月 ..... 933

79 島貫・櫛田・大仰渡し場の定 ..... (明治四年)十月 ..... 935

第四節 飛 脚

80 紀州藩金運送につき飛脚請負証文 ..... 寛延四年、宝曆四年 ..... 939

81 紀州藩金運送飛脚賃錢受取覚(抄) ..... 宝曆元・四年 ..... 943

82 紀州藩金運送飛脚賃錢前借受取証文 ..... 寛保二年 ..... 948

83 山城屋につき大坂三度飛脚会所組申請書雛形 ..... 宝曆十三年十二月 ..... 949

84 紀州藩金江戸下し御用につき絵符借用証文 ..... 寛延三年九月 ..... 950

85 飛脚出立日につき口上書 ..... 宝曆十年九月 ..... 950

86 廻船荷寄会所設立出願につき飛脚問屋仲間返答書 ..... 西閩六月 ..... 954

87 三井京都店飛脚御用につき山城屋願書 ..... 寛政元年閏六月 ..... 954

88 白子行荷物請負方につき伊勢屋重兵衛願書 ..... 寛政元年閏六月 ..... 955

89 白子行荷物伊勢屋請負方につき竹口治兵衛添願書 ..... (享和二年) ..... 956

90 飛脚賃錢書付 ..... 文化三年九月 ..... 957

91 飛脚出立日書付 ..... 文化三年九月 ..... 957

92 飛脚仲間賃錢増につき川喜田江戸店書状 ..... 文化三年九月 ..... 958

93 江戸より伊勢各地宛飛脚賃改正規定 ..... 文化三年九月 ..... 958

第五節 維新期の陸上交通

94 東海道での人力車利用の記録 ..... 明治三年五・八月 ..... 963

95 参宮街道での人力車利用の記録 ..... 明治四年十月 ..... 963

96 御茶屋存続願 ..... 明治五年二月 ..... 964

97 人馬駄賃錢概略表 ..... (明治五年) ..... 965

98 県治概表諸街道里程表 ..... 明治九年 ..... 968

第二章 水上交通

第一節 廻船と湊

一 廻 船

99 四日市廻船台帳 ..... 寛永十一年八月 ..... 973

100 伊勢国一三か浦の御用水主割付控 ..... 寛永四年、正保三年 ..... 974

101 四日市宿廻船役等の経緯と船番株譲渡の申合書 ..... 寛政六年八月 ..... 976

102 四日市廻船と桑名廻船の争論記録 ..... 寛保二、三年 ..... 978

103 松崎廻船の優先につき申渡 ..... 享保七年十二月 ..... 989

104 江村船数覚 ..... 享保十三年九月 ..... 990

105	鳥羽廻船講加入依頼につき書状	子十月／八月	991
106	材木仕出し滞るにつき木本問屋書状	九月	992

## 二 湊

107	四日市湊につき廻船問屋中口上書	寛文八年十月	993
108	鳥羽小宿利用願	文化十三年七月	996
109	御座・浜島船宿争論につき一札	天保十四年	996
110	旅船入津改帳	安政六年正月	998
111	川見役再設置につき口上控	辰 四月	999

## 第二節 難船処理

112	御城米難船大庄屋取扱心得書	明和九年三月	1002
113	難船につき船主証文	文化十一年十二月	1006
114	伊勢丸栄太郎船難船一件記録	文政十三年	1007

## 第三節 河川交通

115	雲出川登り下り諸荷物につき定	元禄十年九月	1014
116	榑田川船株仲間の掟改正	寛政十年正月	1015
117	榑田川船株の売買	明治元年十二月	1017
118	伊賀国長田川通船再興につき取り替し書	文政八年正月	1018

119	伊賀国長田川普請につき約定書	西 四月	1021
120	普請手当銀延引につき一札	文政八年八月	1021
121	普請手当銀出資請取書	文政八年八月	1022

## 第三章 近世の旅

122	宝永抜け参りにつき内宮長官日記	宝永二年閏四月	1027
123	明とお蔭参りにつき内宮長官日記	明和八年五月	1028
124	明和抜け参り客難船一件書留	明和八年六月	1030
125	文政お蔭参り諸事控	文政十三年	1038
126	文政お蔭参り見聞記写	文政十三年	1040
127	野間店施行宿国所人名録	文政十三年閏三月	1042
128	お蔭参り初瀬街道筋取纏雑記	文政十三年	1064
129	崎村お蔭参宮人施行控	文政十三年閏三月	1084
130	足痿え西国巡礼につき覚	元禄五年八・九月	1087
131	西国巡礼者病死につき口演	文政十三年八月	1089